



2017年3月期
決算説明資料

SHIMA SEIKI 

2017年3月期業績概要

大幅な増収増益、営業利益率18%

(百万円)	当 期		前 期
	当期	前期比	
売上高	62,432	+25.9%	49,582
営業利益	11,262	+94.8%	5,781
経常利益	10,043	+121.6%	4,532
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7,198	+120.0%	3,271

為替レート(円)	期 末		平 均	
	レ ー ト	レ ー ト	レ ー ト	レ ー ト
ドル・円	112.19	110.30	112.68	118.14
ユーロ・円	119.79	118.91	127.70	130.82

ハイライト

事業概況

横編機事業・・・

- ・ASEAN諸国やバングラデシュで設備投資が活発に推移しました。
- ・中国、国内向け生産にホールガーメント横編機導入、シューズ関連投資が進みました。
- ・欧州・イタリアではホールガーメント横編機以外でも「SRY」「SIR」など高級機種を導入が進みました。
- ・中東・トルコは上半期まで好調でしたが、政情不安の影響で下半期以降、設備投資が停滞しました。

デザインシステム事業・・・

- ・SDS-ONE APEX3は国内アパレル不振の影響を受け、前期をやや下回りましたが、P-CAMは前期を若干上回りました。

手袋靴下編機事業・・・

- ・大手メーカーの設備投資の回復で前期実績を上回りました。

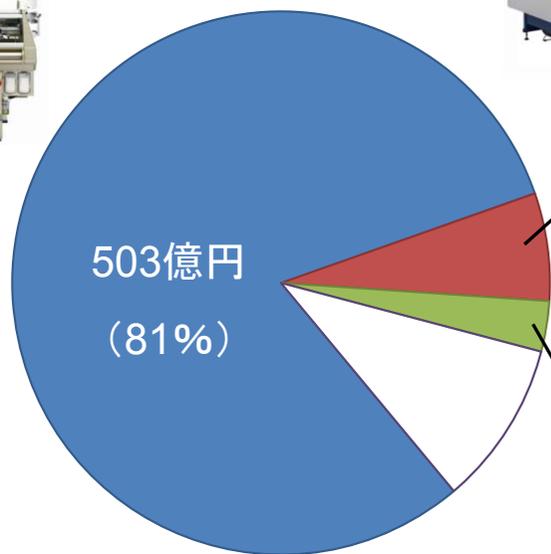
利益面

- ・円高の影響がありながらも売上が大きく伸びたことから営業利益についても大幅に増加しました。
- ・営業外費用として為替差損19億29百万円が発生しましたが、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても前期比2倍を上回る結果となりました。

事業セグメント別売上高

横編機事業で大幅増収

横編機事業



デザインシステム
40億円(6%)

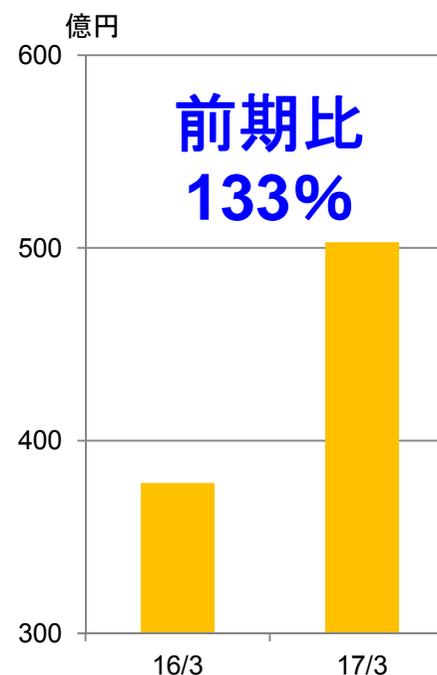


手袋靴下編機
18億円(3%)

連結売上高: 624億円

()は構成比

横編機事業



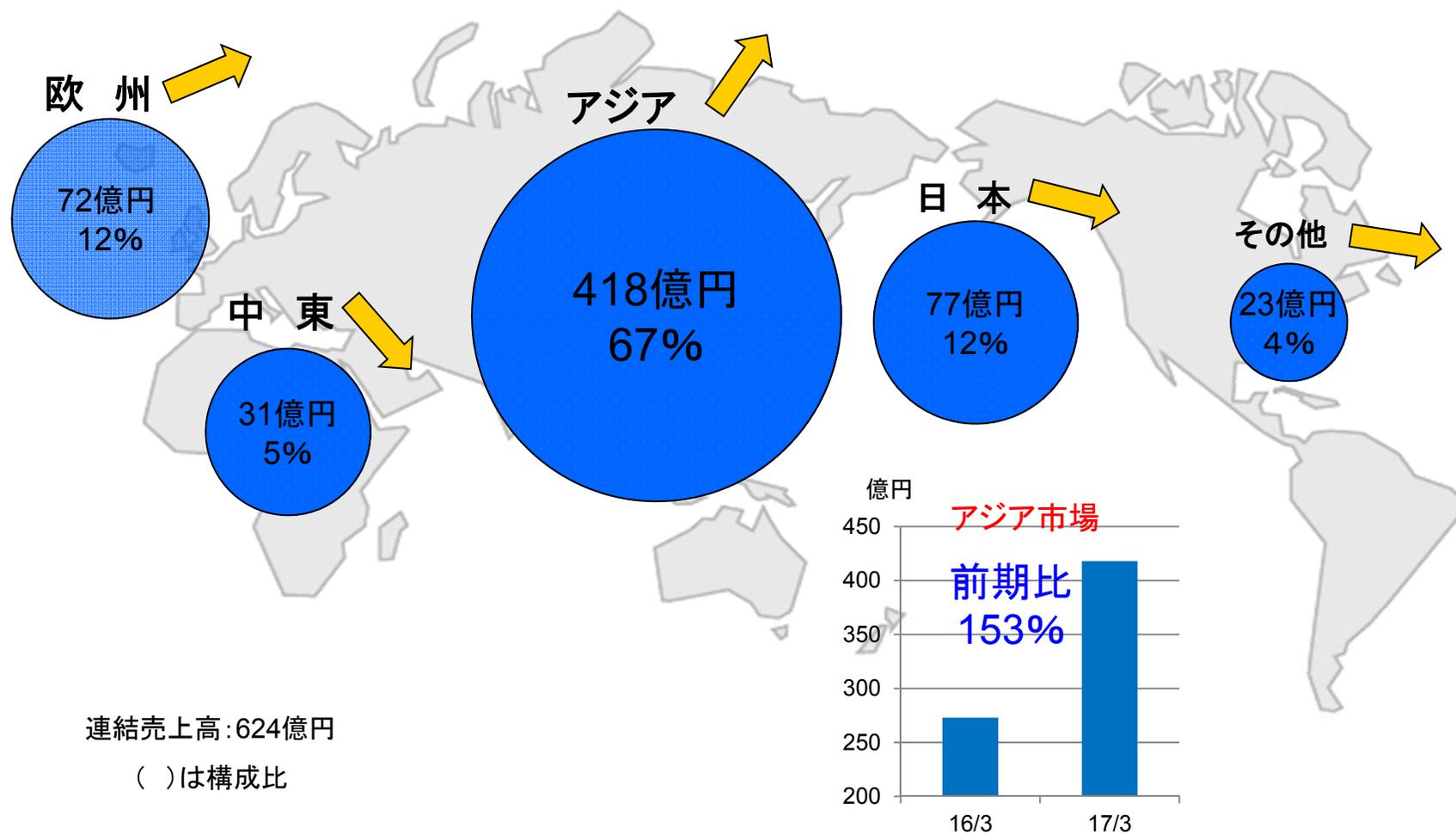
事業セグメント別売上高・営業利益

(百万円)

	売上高	前期比	営業利益	前期比
横 編 機	50,378	+33.3%	15,073	+68.5%
デザインシステム	4,021	△2.8%	1,004	△13.4%
手袋靴下編機	1,887	+24.8%	367	+54.8%
そ の 他	6,144	+0.3%	582	△11.1%
消 去			△5,765	—
合 計	62,432	+25.9%	11,262	+94.8%

連結地域別売上高・割合

アジア市場が好調で大幅増収



連結地域別売上高

(百万円)

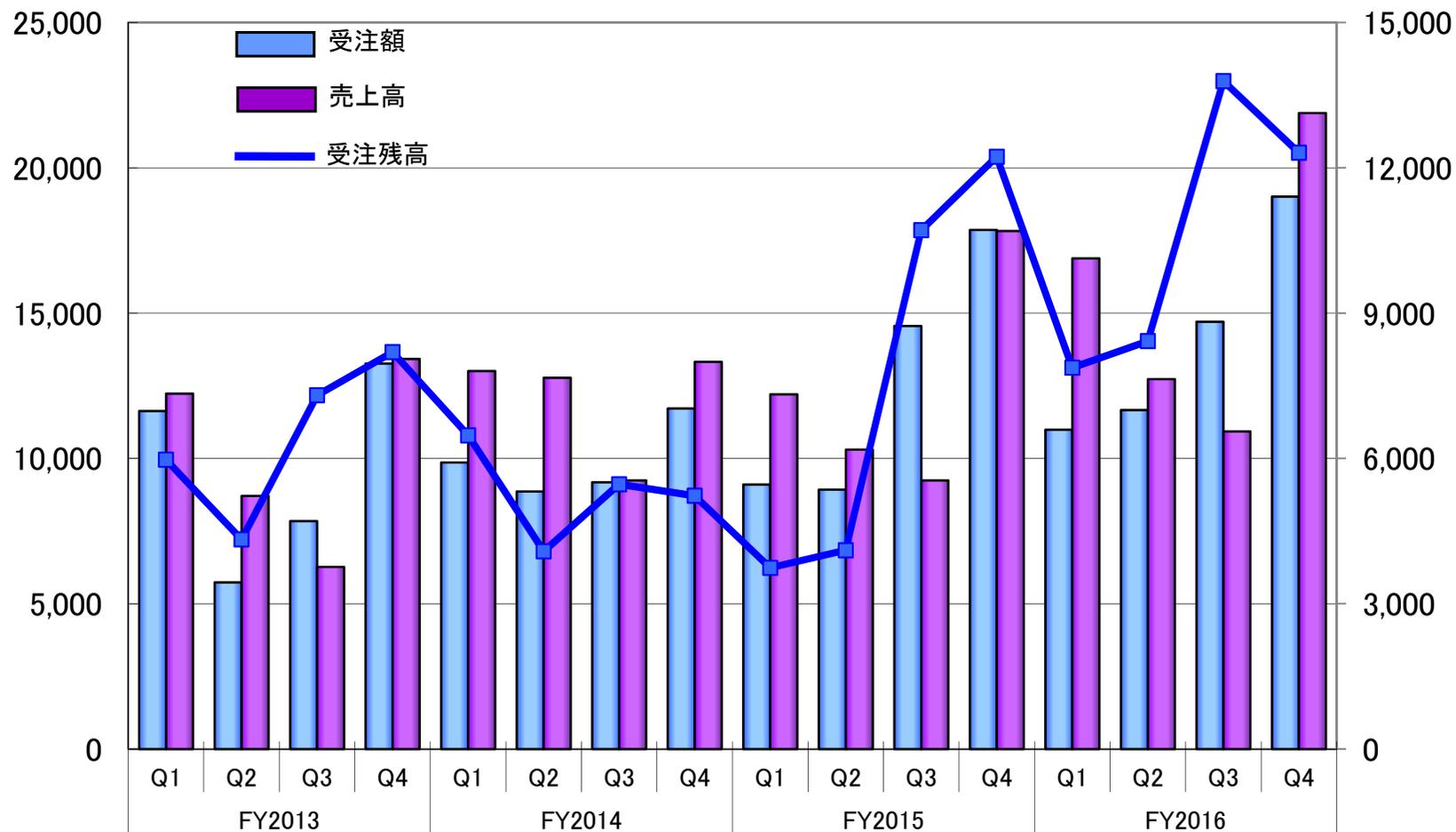
地 域	当 期	前 期	前期比
日 本	7,743	8,191	△5.5%
欧 州	7,265	6,392	+13.7%
ア ジ ア	41,890	27,382	+53.0%
中 東	3,136	4,975	△37.0%
その他(海外)	2,396	2,640	△9.3%
合 計	62,432	49,582	+25.9%

受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注好調、受注残も高水準

(受注・売上高)百万円

(受注残高)百万円



四半期別業績推移〔連結〕

	2016/3				2017/3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	12,207	10,305	9,244	17,825	16,885	12,730	10,929	21,886
営業利益	1,192	800	697	3,091	3,791	1,709	899	4,862
経常利益	2,218	219	707	1,387	990	1,320	2,629	5,102
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,422	198	366	1,282	873	810	1,802	3,711

受注高	9,104	8,928	14,559	17,863	10,989	11,665	14,704	19,011
受注残高	3,741	4,103	10,712	12,229	7,873	8,421	13,790	12,312

サービスネットワーク

アジア市場を強化

2016年 6月<上海>ホールガーメント横編機の研究開発センター開設
9月<ベトナム>現地法人SHIMA SEIKI VIETNAM CO.,LTD営業開始

■ 現地法人・支店
● サービス拠点



・<上海>研究開発センター開設



上海市の大学、上海視覚芸術学院と共同で「ニットデザイン開発センター」を開設した。ニットデザイナーなどの学生の育成と当社顧客の教育を行い、同国における人材育成を通じ、内需の活性化を図っていく。

SHIMA SEIKI VIETNAM CO.,LTD



当期の取り組み

世界各地で、展示会に出展、個展を開催



当期の取り組み

株式会社ファーストリテイリングと

合併会社「株式会社イノベーションファクトリー」を発足（2016年10月27日公表）

合併会社の目的

当社は、ホールガーメント横編機の浸透策の一環として、ホールガーメント製品の生産子会社(株)イノベーションファクトリーを設立・運営してまいりました。

この度、(株)ファーストリテイリングからの出資を受け、合併会社化し、ユニクロ事業を中心とした同社グループ向けに、高品質で付加価値の高いニット製品を生産することとなりました。

この取り組みを通して、当社が持つ最新のニット技術によって、ホールガーメントを核としたニット生産の事業モデルを構築し、画期的なニット製品の生産を実現するマザー工場の役割を担っていくことを目指してまいります。

合併会社の概要

会社名 : 株式会社イノベーションファクトリー (INNOVATION FACTORY CO.,LTD.)

所在地 : 和歌山県和歌山市

代表者 : 中村 充隆

事業内容 : 無縫製ニット製品(ホールガーメント製品)の生産

総出資金額: 400百万円 (増資後)

出資比率 : 株式会社島精機製作所 51%

株式会社ファーストリテイリング 49%

合併時期 : 2016年10月27日 (設立2015年12月)

今後の見通し

現時点において当社の業績に与える影響は軽微ですが、この取り組みを通してホールガーメント製品の認知度向上につながるものと考えており、これからも引き続き、ホールガーメント横編機事業の拡大を目指します。

当期の取り組み

「リテールテックJAPAN 2017」(東京ビッグサイト)

期間:3月7日(火)~10日(金)
インテル株式会社ブース内に出展

1月にニューヨークで開催されたNational Retail Federation Big Showでも、インテル社のブース内へ出展し、好評をいただいたことから、日本においても小売・流通業界に向け、ホールガーメント横編機<MACH2XS>とデザインシステム<SDS-ONE APEX3>の連携による、アパレル製品の革新的なオンデマンド生産を提案しました。



横編機の糸切れ検知装置の組立加工工程にロボットを導入



自動化により、作業効率化をすすめる一例

複雑な組立工程のため、これまで熟練作業による組立作業を行っていた。部品形状、作業手順を見直し、ロボットの動作に適した部品、工程に設計変更を実施。

多関節ロボットを7台導入し、これにより、現状、2.7倍の労働生産性を達成しました。これにより品質安定性にもつながります。

中期経営計画「Ever Onward 2017」

2018年3月期は中期経営計画の最終年度

4つの重点施策

・横編機事業の最強化

ホールガーメント横編機を核とした革新的なマーケティング手法の提案強化などにより、顧客満足度をさらに高め、コアビジネスである横編機事業をより一層強靱なものにする。

・独自性をもった事業範囲の拡大

ホールガーメント技術など当社独自の技術を活用し、非衣料市場への横編機事業の展開や自動裁断機事業の強化など、革新的な事業の創出、差別化戦略を推進する。

・収益構造の改革

アフターセールス強化などの収益源の多様化、営業キャッシュフローの改善など、事業・業務の抜本的な見直しにより、持続可能な収益源の確保と戦略的なコスト削減を進める。

・経営基盤の強化

創造力のある人材・多様性のある人材の採用・育成など、人材面を中心に、全般的な経営資源の整備を進めるとともに、CSRをさらに重視した経営体制を構築する。

2017年度連結目標 (2018年3月期)	売上高	730億円
	(当初計画)	700億円
	営業利益	150億円
	経常利益	150億円
	当期純利益	100億円
	R O E	8.5%

新分野を開拓

ホールガーメントの技術をファッションの枠にとどめず、多彩な分野に拡げ、横編みと裁断技術を併せ持つ当社オリジナルの提案を積極的に推進し、需要の拡大を目指します。



立体編成技術



インレイ(横糸挿入)編成技術



PETモノフィラメント(産業資材)



炭素繊維+ナイロン



スポーツ、メディカル、ウェアラブル、
インテリア、自動車、航空宇宙、産業資材



2018年3月期業績計画

「Ever Onward 2017」

(百万円)	2018年3月期 上半期		2018年3月期 通 期		2017年3月期 前 期
		前年同期比		前期比	
売上高	38,000	+28.3%	73,000	+16.9%	62,432
営業利益	8,000	+45.4%	15,000	+33.2%	11,262
経常利益	8,000	+246.2%	15,000	+49.4%	10,043
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,300	+214.8%	10,000	+38.9%	7,198

通期計画の前提 為替レート 110円/ドル 120円/ユーロ

為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル4.3億円 ユーロ0.2億円

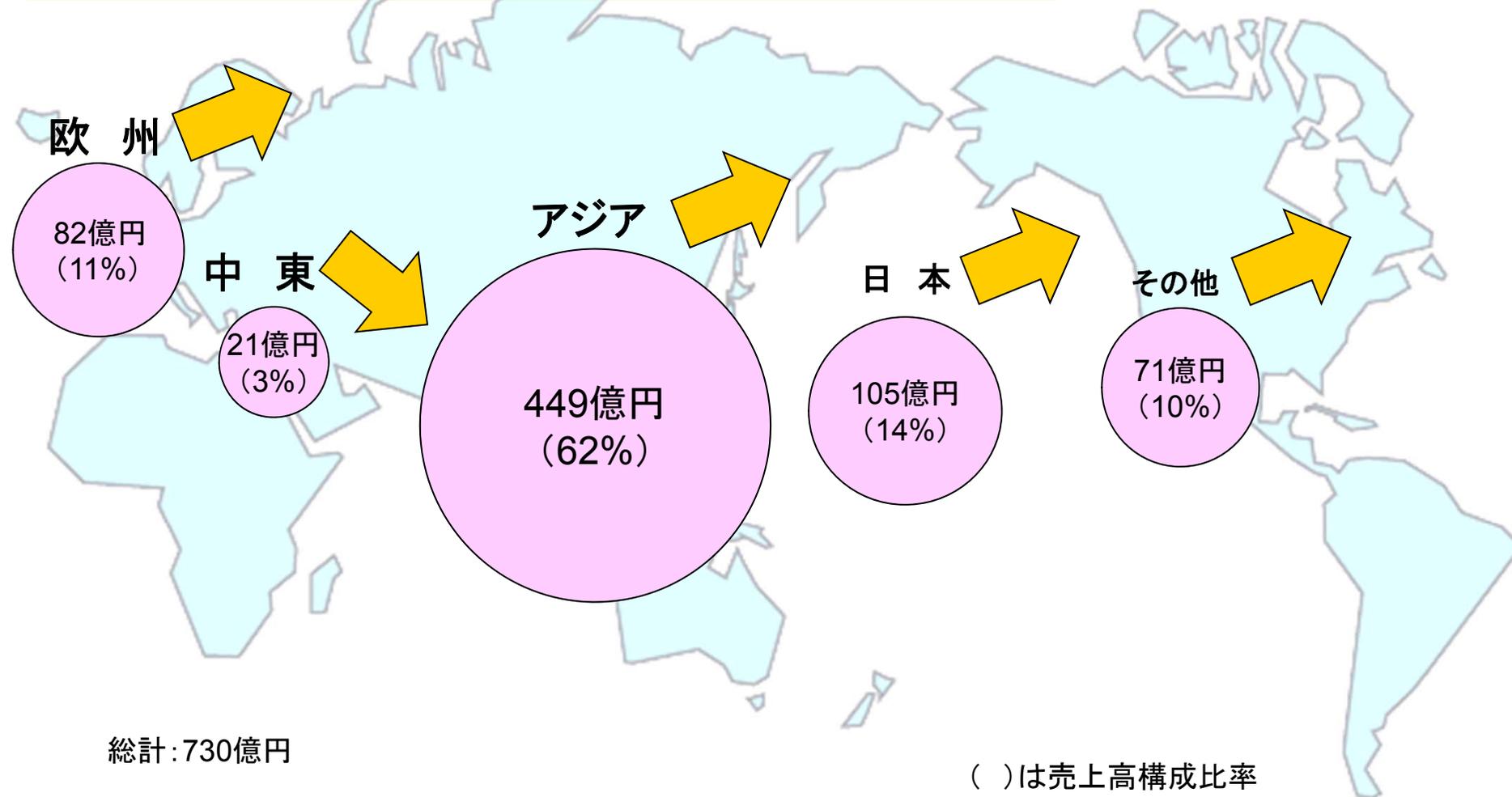
事業セグメント別計画〔18年3月期〕

引き続き、横編機事業が牽引

(百万円)	売上高		前期比	営業利益		前期比
	上半期	通期		上半期	通期	
横編機	30,970	59,260	+17.6%	9,940	18,590	+23.3%
デザインシステム	2,530	5,140	+27.8%	630	1,240	+23.4%
手袋靴下編機	800	2,100	+11.3%	180	450	+22.6%
その他	3,700	6,500	+5.8%	450	720	+23.6%
消去				△3,200	△6,000	-
合計	38,000	73,000	+16.9%	8,000	15,000	+33.2%

地域別売上高計画〔18年3月期〕

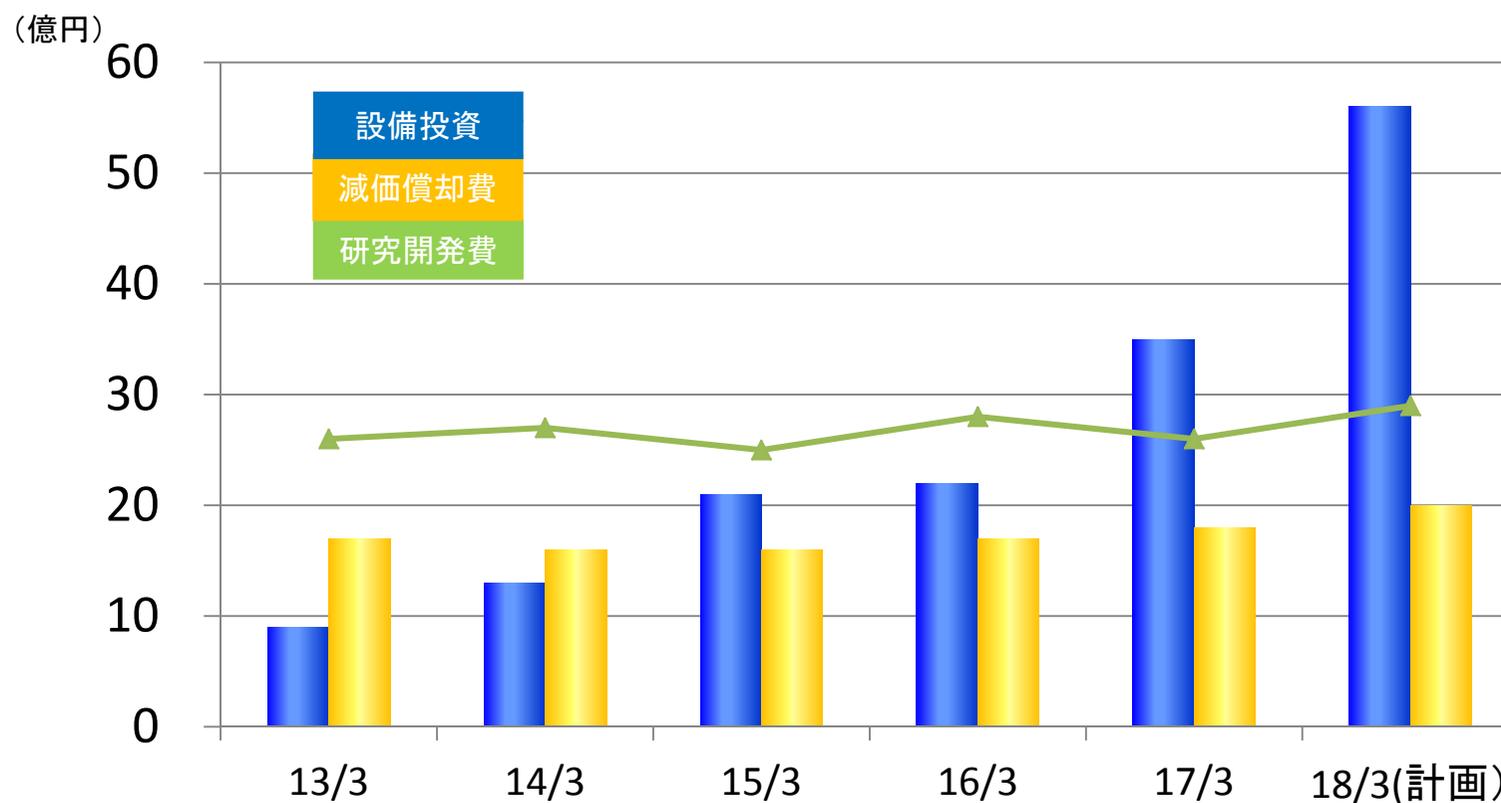
アジア市場以外でも積極的な提案活動



研究開発費・設備投資等の推移

17年3月期(実績) 設備投資35億円、減価償却費18億円、研究開発費26億円

18年3月期(計画) 設備投資56億円 減価償却費20億円、研究開発費29億円
主要投資計画 新工場建設(機械加工工場)

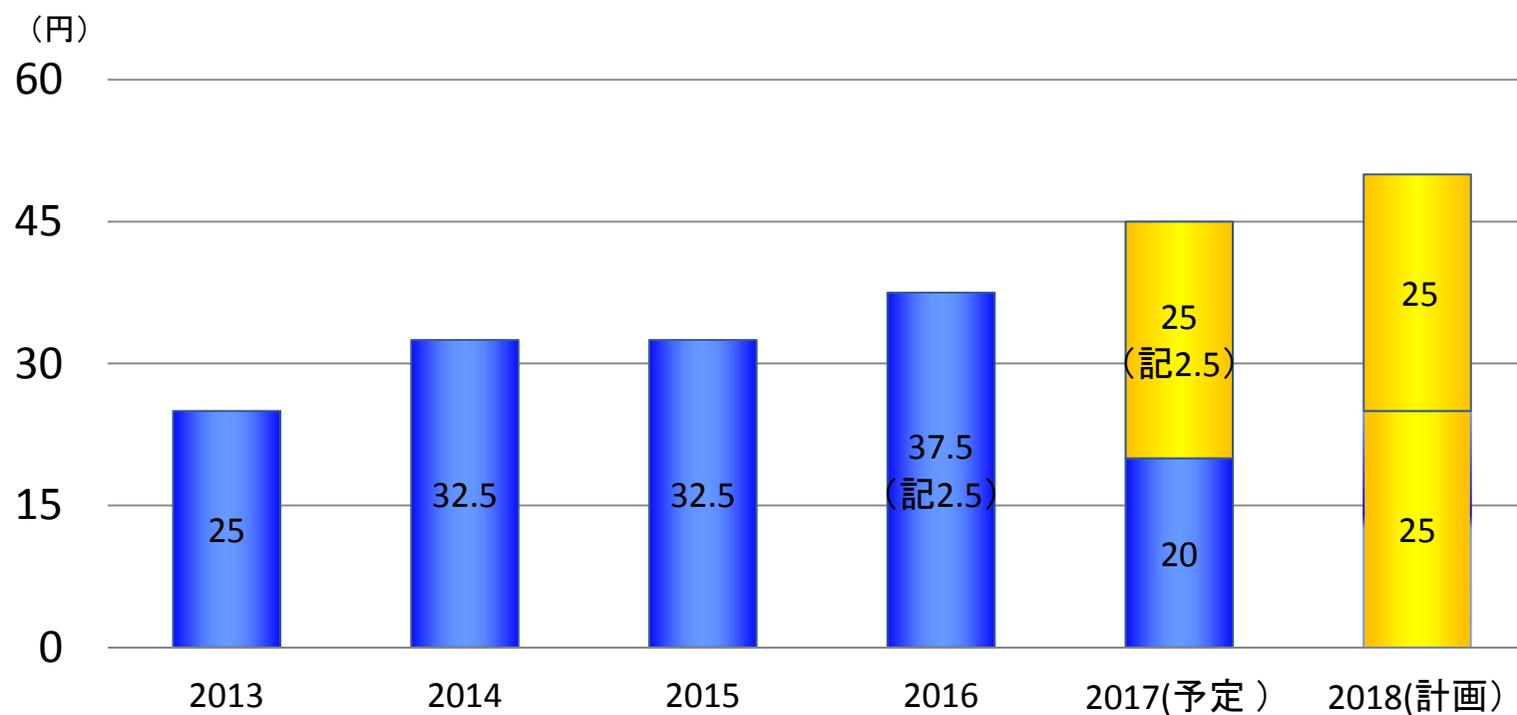


株主還元

1. 自己株式保有数 2,117,503株(発行済株式総数の5.8%)

2. 17/3期配当金〔予定〕 期末配当金 25円(55周年記念配当2.5円)

3. 18/3期配当金〔計画〕 中間配当金 25円(前期比 5円増配)
期末配当金 25円



お知らせ

＜代表取締役の異動＞（平成29年6月28日予定）

代表取締役会長	島 正博	（現 代表取締役社長）
代表取締役社長	島 三博	（現 取締役副社長）

異動の理由

更なる企業価値の向上を目指し、経営体制の一層の強化・充実を図る

島 三博(しま みつひろ) プロフィール 昭和36年6月23日生まれ(55歳)

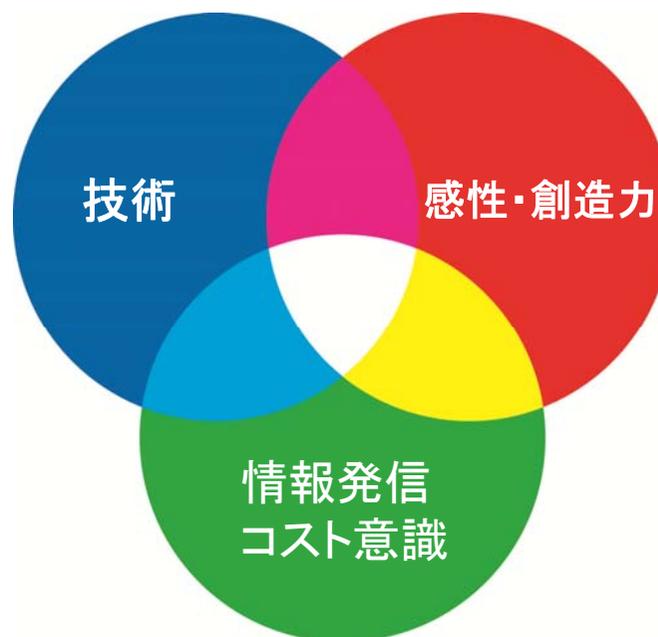


昭和62年3月	当社入社
平成10年3月	システム開発部長
平成14年6月	取締役システム開発部長
平成18年6月	取締役制御システム開発部、知的財産部担当兼グラフィックシステム開発部長
平成19年6月	常務取締役制御システム開発部、知的財産部、トータルデザインセンター担当兼グラフィックシステム開発部長
平成22年6月	常務取締役生産技術部、資材部、トータルデザインセンター担当兼生産本部長
平成23年6月	専務取締役生産技術部、トータルデザインセンター担当兼生産本部長
平成24年6月	取締役副社長経営企画部、トータルデザインセンター担当兼営業本部副部長
平成25年3月	取締役副社長兼営業本部副本部長
平成27年4月	取締役副社長兼営業本部副本部長兼経営企画部担当（現任）
平成29年6月	代表取締役社長兼営業本部長兼経営企画部担当（予定）

経営理念

「Ever Onward — 限りなき前進」

私たちは「愛」「創造」「氣」を合言葉に「Ever Onward — 限りなき前進」を掲げ、事業の持続的発展により、「世の中になくはない企業」になることを目指してまいります。



企業内保育園「しまキッズランド」を開設

当社では、女性の能力開発とキャリアアップ支援をおこなう一環として、本社敷地内に保育施設を開設しました。当社および関連会社に勤務する社員が安心して業務に専念できる環境を整え、女性の活躍を支援してまいります。



【保育施設の概要】

開設日	2017年4月3日
定員	35名

このプレゼンテーション資料には、2017年5月1日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界情勢・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。